

3 生活実感と幸福実感における相関について<資料5>

生活実感に関する130の設問と幸福実感の相関関係の分析を行った。その結果、31の設問で該当した。相関がある場合、生活実感が上がるに連れて幸福実感も上がるため、該当する設問に対して生活実感を高めるような取組を推進することで幸福実感の上昇が期待できる。

分析結果から、「市民生活とコミュニティ」、「スポーツ」、「学校教育」、「土地利用と都市機能配置」の分野で相関が多くみられた。

世代別・性別においては、中年層男性が最も多く該当した。中年層男性は、他の世代別・性別と比べて相対的に生活実感と幸福実感が低いことから、これを手掛かりに中年層男性の幸福実感を高める取組を期待したい。一方、中年層女性は、該当する設問が一つもなかった。

本分析においては、中程度の相関が認められるとされる「相関係数0.4」以上あるものを取り上げた。また偶然性を排除するため、「t検定」で有意水準1%に該当しないものは取り上げていない。

なお、一般的には相関関係の強弱の目安として以下のように示されることが多く、本分析においてもこの基準で相関関係の強さを判定している。

強い相関がある：±0.7～±1.0

中程度の相関がある：±0.4～±0.7以下

弱い相関がある：±0.2～±0.4以下

ほとんど相関がない：±0.2未満

※正の相関関係が強いということは、「生活実感度合が高い人は幸福実感度合も高い」あるいは「生活実感度合が低い人は幸福実感度合も低い」ということを意味する。中年層男性でこれに該当する設問が多かったのは「生活実感度合も幸福実感度合も低い」人が比較的多かったためと考えられる。

生活実感と幸福実感において相関を示した設問 一覧表

※計31問該当

分野	設問文	世代・性別
環境 (1問該当)	きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。	中年層男性
人権・男女 (1問該当)	くらしのなかで互いの人権を尊重し合う習慣と行動が広がっている。	中年層男性
市民生活と コミュニティ (3問該当)	地域の一員として安心してくらするまちになっている。	高年層女性
	町内会・自治会などの地域の組織の活動が盛んである。	高年層男性
	多様なNPOやボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。	中年層男性
文化 (1問該当)	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	中年層男性
スポーツ (2問該当)	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	中年層男性 高年層男性
	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	高年層男性
産業・商業 (2問該当)	京都の商業は盛んで楽しく買い物ができ、元気な商業者が多い。	中年層男性
	働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。	中年層男性
観光 (2問該当)	京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。	高年層男性
	京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。	中年層男性
国際化 (1問該当)	京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。	中年層男性
子育て支援 (1問該当)	働き方の見直しや男性の育児参加など、仕事と子育ての両立に取り組むひとや企業が増えている。	中年層男性
障害者福祉 (2問該当)	障害への理解が進み、障害のあるひともないひとも、認め合い、支え合ってくらするまちになっている。	中年層男性
	働く場で、障害のあるひとがいきいきと働く姿を多く見かけるようになっている。	中年層男性
地域福祉 (1問該当)	地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。	若年層女性
高齢者福祉 (2問該当)	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送れている。	高年層女性
	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしいくらしを送れている。	高年層女性

保健衛生・ 医療 (1問該当)	感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	高年層男性
学校教育 (3問該当)	保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。	若年層女性 中年層男性
	子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。	若年層女性
	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	中年層男性
生涯学習 (2問該当)	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	中年層男性
	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	中年層男性
歩くまち (1問該当)	地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	高年層男性
土地利用と 都市機能配置 (2問該当)	身近な地域が魅力的になっている。	高年層男性 高年層女性
	身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	中年層男性 高年層男性
景観 (2問該当)	身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	高年層女性
	三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。	中年層男性
住宅 (1問該当)	身近な地域で空き家が減っている。	若年層男性

<世代別・性別該当設問数>

市全体	0問
若年層男性	1問
若年層女性	3問
中年層男性	18問
中年層女性	0問
高年層男性	8問
高年層女性	5問